

高等学校 令和5年度(12学年用) 教科

地理歴史 科目 歴史総合

教科: 地理歴史

科目: 歴史総合

単位数: 2 単位

対象学年組: 第1学年 1組～5組

教科担当者: (1～5組: 大原)

使用教科書: (私たちの歴史総合(清水書院))

教科 地理歴史

の目標:

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本および世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念など活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的、多角的な考察や深い理解を通して寛容される日本国民としての自覚、我が国の歴史や文化に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその他の日本を広く相互的な視野から捉え、現代の多岐課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、調査資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的、多角的な考察や深い理解を通して寛容される日本国民としての自覚、我が国の歴史や文化に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	1 単元 歴史の歴史 【知識及び技能】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらねばならぬ、諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 答えのない複雑な課題に対して、粘り強く取り組み、自身の答えを見出そうとしている。	日本とスポーツの歴史	【知識・技能】 日本とスポーツの歴史を基に、日本と世界の歴史がつながっていることを理解するとともに、調査資料を活用している。 【思考・判断・表現】 スポーツと近代化、大衆化、グローバル化などの歴史との関連を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本とスポーツの歴史について、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	2	
	2 単元 18世紀までの世界 【知識及び技能】 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 答えのない複雑な課題に対して、粘り強く取り組み、自身の答えを見出そうとしている。	18世紀までの世界 ・ 20世紀の日本と世界 ・ 18世紀の中国とアジア貿易 ・ 18世紀のイギリスとアジア、アフリカ 【もっと知りたい】 海を渡った日本産銅器 【もっと知りたい】 琉球と蝦夷地	【知識・技能】 18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解するとともに、それらに関する調査資料を活用している。 【思考・判断・表現】 18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀のアジアの経済・社会に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	7	
	3 単元 工業化と世界市場の形成 【知識及び技能】 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民意識の形成や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 答えのない複雑な課題に対して、粘り強く取り組み、自身の答えを見出そうとしている。	工業化と世界市場の形成 ・ 産業革命による経済発展と社会の変化 ・ 世界市場の形成とイギリスによるアジア進出 ・ 日本の開国とその影響 【歴史のなかの16歳】 工女とフランスバンド 【もっと知りたい】 産業革命とフランスバンド	【知識・技能】 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解するとともに、それらに関する調査資料を活用している。 【思考・判断・表現】 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民意識の形成や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 工業化と世界市場の形成に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	7	
	定期考査				○	○	○	1
	4 単元 国民国家と立憲体制 【知識及び技能】 18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民意識の形成や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 答えのない複雑な課題に対して、粘り強く取り組み、自身の答えを見出そうとしている。	国民国家と立憲体制 ・ 市民革命と近代民主主義社会の成立 ・ 国民統合とナショナリズム ・ 明治維新期の日本と世界 ・ 近代国家への移行と憲法の制定 【もっと知りたい】 国境の過去・現在・未来 【もっと知りたい】 女工と天皇理想の家族	【知識・技能】 18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解するとともに、それらに関する調査資料を活用している。 【思考・判断・表現】 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民意識の形成や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家と立憲体制に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	7	
	5 単元 帝国主義とアジア、アフリカの変容 【知識及び技能】 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 答えのない複雑な課題に対して、粘り強く取り組み、自身の答えを見出そうとしている。	帝国主義とアジア、アフリカの変容 ・ 列強による帝国主義 ・ 帝国主義がアジア、アフリカにもたらしたもの ・ 日清戦争とその影響 ・ 日露戦争 【もっと知りたい】 近代の博覧会 【もっと知りたい】 ベストと感染症	【知識・技能】 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解するとともに、それらに関する調査資料を活用している。 【思考・判断・表現】 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民意識の形成や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 列強の帝国主義政策とアジア・アフリカの変容に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	7	
定期考査				○	○	○	1	
2 学 期	6 単元 第一次世界大戦と大衆社会 【知識及び技能】 第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソビエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の経緯と第一次世界大戦が戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景や影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と特徴、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 答えのない複雑な課題に対して、粘り強く取り組み、自身の答えを見出そうとしている。	第一次世界大戦と国際社会 ・ 第一次世界大戦 ・ 社会主義革命 ・ 国際協調体制 ・ アジアの民族運動 【もっと知りたい】 ヨーロッパ人のバスターナ移住とバスターナ分断 【もっと知りたい】 浅川一鶴の人とともに生きた日本人	【知識・技能】 総力戦となった第一次世界大戦の特徴・展開、日本やアジアの経済成長、ソビエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦となった第一次世界大戦の特徴・展開や特徴、第一次世界大戦後の国際協調体制が構築された経緯やその展開の特徴、日本とアジア及び太平洋地域の関係を理解するとともに、調査資料を活用している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の経緯と第一次世界大戦が戦後の世界に与えた影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と特徴、社会主義革命の性格や特徴、大戦後の日本とアジア及び太平洋地域の関係の変化や軍国主義・不平等条約など国際協調体制の特徴などを、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際連盟やその他の国際機関などの国際組織、国際的な軍備条約や不平等条約などの国際法の意義を理解し第一次世界大戦と国際社会に関して、国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6	
	7 単元 1920年代の世界と大衆の時代の到来 【知識及び技能】 大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会や社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 答えのない複雑な課題に対して、粘り強く取り組み、自身の答えを見出そうとしている。	1920年代の世界と大衆の時代の到来 ・ 大衆の政治参加 ・ 女性の社会参加 ・ 大衆社会の形成 【もっと知りたい】 映画と「大衆化」 【もっと知りたい】 オリンピックの夢	【知識・技能】 大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達など大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解するとともに、それらに関する調査資料を活用している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会や社会運動との関連などを、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 高消費社会に深く関与する国民や社会の在り方を模索する多様な思想や運動とその主体の意義に関して、大量消費社会の功罪、教育の重要性や世論形成におけるマスメディアの重要性を認識し、民主主義社会・資本主義社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6	
	定期考査				○	○	○	1

3 学 期	<p>Ⅰ 単元 国際協力の挫折と2度目の世界大戦</p> <p>【知識及び技能】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協力の動向を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協力の動向の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 答えのない複雑な課題に対して、粘り強く取り組み、自身の答えを見出そうとしている。</p>	<p>世界大戦がもたらしたものの ・アジア太平洋戦争 ・戦争が変えた人々の暮らし ・戦後世界の新たな枠組み ・戦後の日本とアジア ・冷戦下の東アジア</p> <p>【もっと知りたい】 核と原子力エネルギー</p>	<p>【知識・技能】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策、第二次世界大戦の勃発などを基に、国際協力の動向と崩壊、国際秩序の形成やその崩壊の特性や国際協力の動向を理解するとともに、それらに関する語彙を活用している。</p> <p>【思考・判断・表現】 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協力の動向の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 世界恐慌や第二次世界大戦の勃発やその崩壊に際して、国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題と関わりを主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>Ⅱ 単元 冷戦と国際政治</p> <p>【知識及び技能】 植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の動向を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国の経済政策の特徴、欧米やソビエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 答えのない複雑な課題に対して、粘り強く取り組み、自身の答えを見出そうとしている。</p>	<p>冷戦と国際政治 ・植民地化とアジア、アフリカ諸国 ・冷戦下の地域紛争 ・先進国の政治と社会運動 ・核兵器の脅威と核軍縮</p>	<p>【知識・技能】 植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の動向を理解するとともに、それらに関する語彙を活用している。</p> <p>【思考・判断・表現】 地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国の経済政策の特徴、欧米やソビエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地域紛争や冷戦の影響、国際政治の動向などに関して、グローバル化する国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
	<p>Ⅲ 単元 世界経済の拡大と日本</p> <p>【知識及び技能】 西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 答えのない複雑な課題に対して、粘り強く取り組み、自身の答えを見出そうとしている。</p>	<p>世界経済の拡大と日本 ・西ヨーロッパ、東南アジアの地域連携 ・高度経済成長 【もっと知りたい】 グローバリゼーションとストリートファッション 【歴史のなかの16歳】 集団就職「金の網」たちの時代</p>	<p>【知識・技能】 西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解するとともに、それらに関する語彙を活用している。</p> <p>【思考・判断・表現】 冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 世界経済の動向や、地域連携、日本の高度経済成長の背景と影響などに関して、グローバル化する国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>Ⅳ 単元 市場経済の変容と冷戦の終結</p> <p>【知識及び技能】 石油危機と価値観の転換、アジアの成長、冷戦の終結</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源、エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 答えのない複雑な課題に対して、粘り強く取り組み、自身の答えを見出そうとしている。</p>	<p>市場経済の変容と冷戦の終結 ・石油危機と価値観の転換 ・アジアの成長 ・冷戦の終結</p>	<p>【知識・技能】 西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解するとともに、それらに関する語彙を活用している。</p> <p>【思考・判断・表現】 冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 世界経済の動向や、地域連携、日本の高度経済成長の背景と影響などに関して、グローバル化する国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	7	
<p>Ⅴ 単元 冷戦終結後の世界</p> <p>【知識及び技能】 冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡大とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の動向と課題を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 冷戦の終結と核兵器の脅威、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡大の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 答えのない複雑な課題に対して、粘り強く取り組み、自身の答えを見出そうとしている。</p>	<p>冷戦終結後の世界 ・民主化の進展と冷戦終結後の日本 ・地域統合の進展と課題 ・情報通信技術の発達 ・冷戦終結後の紛争と平和への取り組み 【もっと知りたい】 改善と私たち 【もっと知りたい】 中東の少数派クルド人</p>	<p>【知識・技能】 西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解するとともに、それらに関する語彙を活用している。</p> <p>【思考・判断・表現】 冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 世界経済の動向や、地域連携、日本の高度経済成長の背景と影響などに関して、グローバル化する国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	6	
定期考査			○	○	○	78	
						合計	

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1組：石川） （2組：道祖土） （3組：道祖土） （4組：道祖土） （5組：道祖土）

使用教科書：（新地理総合（帝国書院）新高等地図（東京書籍））

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の多様な生活文化、防災、地域・地球的課題への取り組みを理解する。地図や地理情報システムを活用し諸資料から地理的情報を調査まとめる技能を身につける。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、多面的多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力、考察・構想したことを的確に説明したり、議論したりする力を養う。	地理的諸事象について、よりよい社会の実現をめざすための課題を追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、国土に対する愛情、世界の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 結びつきを深める現代世界 地図と地理情報システム 【知識及び技能】 地図の読図を基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきを理解する。地図や地理情報システムの役割や有用性を理解する。地図や地理情報システムを用いた情報収集、読み取りなどの基本的な技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について、主題を設定し、日本の位置、国内や国家間の結びつきを多面的、多角的に考察、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ワークノートの作業的学習に取り組もうとしている。	・指導事項 現代世界の国家と領域、グローバル化する世界、地球上の位置と時差、地図の役割と種類 ・教材 教科書、地図帳、ワークノート、資料集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ワークノートの記入及び白地図ワークの記入から、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつき、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解し、地図や地理情報システムを用いた情報収集、読み取りなどの基本的な技能を身につける。 【思考・判断・表現】 ワークノートの記入状況、白地図ワークの記入状況、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、積極的な発言、ワークノート・白地図ワークを最後まで取り組んでいる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	B 地図と地理情報システム 生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 地図や地理情報システムの役割や有用性を理解する。地図や地理情報システムを用いた情報収集、読み取りなどの基本的な技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などを多角的に考察表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ワークノートの作業的学習に取り組もうとしている。	・指導事項 地図の役割と種類、世界の地形と人々の生活、世界の気候と人々の生活 ・教材 教科書、地図帳、ワークノート、資料集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ワークノートの記入及び白地図ワークの記入から、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解し、地図や地理情報システムを用いた情報収集、読み取りなどの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ワークノートの記入状況、白地図ワークの記入状況、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、積極的な発言、ワークノート・白地図ワークを最後まで取り組んでいる。	○	○	○	17
定期考査			○	○		1	
2 学 期	C 生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 世界の人々の生活文化が地理的影響を受けたり、影響を与えたりして多様性を持っていることについて理解する。自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化について、それが見られる場所の特徴や自然、社会的条件との関わりに着目して、多様性の要因などを多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ワークノートの作業的学習に取り組もうとしている。	・指導事項 世界の言語・宗教と人々の生活、歴史的背景と人々の生活、世界の産業と人々の生活、日本の自然環境 ・教材 教科書、地図帳、ワークノート、資料集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ワークノートの記入及び白地図ワークの記入から、世界の人々の生活文化が地理的影響を受けたり、影響を与えたりして多様性を持っていることについて、また、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性を理解する。 【思考・判断・表現】 ワークノートの記入状況、白地図ワークの記入状況、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、積極的な発言、ワークノート・白地図ワークを最後まで取り組んでいる。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	B 自然環境と防災 【知識及び技能】 日本や世界で見られる自然災害や生活圏内で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色対応との関わりをもとに自然災害の規模や地域性を踏まえた備えの重要性について理解すること。ハザードマップなどの地理情報を読み取る技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然や社会的条件との関わり、地域の共通点や差異などに注目して自然災害への備えを多角的に考察表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ワークノートの作業的学習に取り組もうとしている。	・指導事項 地震・津波と防災、火山災害と防災、気象災害と防災、自然災害への備え ・教材 教科書、地図帳、ワークノート、資料集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ワークノートの記入及び白地図ワークの記入から、日本や世界で見られる自然災害や生活圏内で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色対応との関わりをもとに自然災害の規模や地域性を踏まえた備えの重要性について理解し、ハザードマップなどの地理情報を読み取る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ワークノートの記入状況、白地図ワークの記入状況、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、積極的な発言、ワークノート・白地図ワークを最後まで取り組んでいる。	○	○	○	17
定期考査			○	○		1	

			○	○		1	
3 学 期	<p>C 地球的課題と国際協力</p> <p>【知識及び技能】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食糧問題、居住・都市問題などを基に、地球的課題の共通傾向や課題の関連性について理解する。また、その解決には各国の取り組みや国債協力が必要であることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食糧問題、居住・都市問題などの地球的課題について、持続可能な社会づくりに着目して、現状や要因、解決方法などを多角的に考察、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ワークノートの作業的学習に取り組もうとしている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>複雑に絡み合う地球的課題、環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食糧問題</p> <p>・教材 教科書、地図帳、ワークノート、資料集</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ワークノートの記入及び白地図ワークの記入から、地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食糧問題、居住・都市問題などを基に、地球的課題の共通傾向や課題の関連性について、また、その解決には各国の取り組みや国債協力が必要であることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークノートの記入状況、白地図ワークの記入状況、発言</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、積極的な発言、ワークノート・白地図ワークを最後まで取り組んでいる。</p>	○	○	○	11
	定期考査					1	
					合計	79	

高等学校 令和5年度（12学年用） 教科

公民 科目 公共

教科： 公民

科目： 公共

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： (1 組～5 組 俵木)

使用教科書： (高等学校 公共 これからの社会について考える)

教科 公民

の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【知識及び技能】 本単元の内容に関して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本単元の内容に関して、自己の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本単元に関する社会的課題を探究しようとする。	・オリエンテーション ・青年期 ・共生社会の実現に向けて ・SDGs	【知識・技能】 ・青年期の特徴を理解している。 ・社会が、多様な人々から成り立っていることを理解できている。 【思考・判断・表現】 ・自己について考え、表現している。 ・自分とは異なる意見を共感的に受け入れ、誰もが生きやすい社会を実現するために何ができるか考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に参加している。	○	○	○	10
	【知識及び技能】 本単元の内容に関して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本単元の内容に関して、自己の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本単元に関する社会的課題を探究しようとする。	・近世、近代の西洋思想	【知識・技能】 ・近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容が理解できている。 【思考・判断・表現】 ・先哲の思想を基に自己の生き方について考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に参加している。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
	【知識及び技能】 本単元の内容に関して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本単元の内容に関して、自己の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本単元に関する社会的課題を探究しようとする。	・近世、近代の西洋思想	【知識・技能】 ・近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容が理解できている。 【思考・判断・表現】 ・先哲の思想を基に自己の生き方について考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に参加している。	○	○	○	4
	【知識及び技能】 本単元の内容に関して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本単元の内容に関して、自己の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本単元に関する社会的課題を探究しようとする。	・生命倫理	【知識・技能】 ・生命倫理に関する基礎知識と課題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・生命倫理に関わる問題について様々な意見を踏まえた上で、自分の考えを述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に参加している。	○	○	○	8
定期考査			○	○	○	1	
2 学期	【知識及び技能】 本単元の内容に関して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本単元の内容に関して、自己の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本単元に関する社会的課題を探究しようとする。	・民主政治のあゆみ ・20世紀の思想	【知識・技能】 ・民主政治のあゆみを理解できる。 【思考・判断・表現】 ・民主政治における国家と個人のあり方が考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に参加している。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	【知識及び技能】 本単元の内容に関して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】	・日本国憲法	【知識・技能】 ・日本国憲法の三大原理や日本国憲法で保障されている権利が理解できている。				

	<p>【思考力、判断力、表現力等】 本単元の内容に関して、自己の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本単元に関する社会的課題を探究しようとする。</p>		<p>含んでいる権利が理解できている。 【思考・判断・表現】 ・社会情勢の変化にともない生じる課題について多面的に考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に参加している。</p>	○	○	○	14
	<p>【知識及び技能】 本単元の内容に関して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本単元の内容に関して、自己の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本単元に関する社会的課題を探究しようとする。</p>	・法と契約	<p>【知識・技能】 ・法や規範の意義や役割が理解できている。 【思考・判断・表現】 ・身近な契約の事例から気を付けるべきことについて考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に参加している。</p>	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	<p>【知識及び技能】 本単元の内容に関して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本単元の内容に関して、自己の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本単元に関する社会的課題を探究しようとする。</p>	・法と契約	<p>【知識・技能】 ・法や規範の意義や役割が理解できている。 【思考・判断・表現】 ・身近な契約の事例から気を付けるべきことについて考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に参加している。</p>	○	○	○	7
	<p>【知識及び技能】 本単元の内容に関して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本単元の内容に関して、自己の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本単元に関する社会的課題を探究しようとする。</p>	・司法	<p>【知識・技能】 日本の司法制度について理解する。 【思考・判断・表現】 裁判によって国民のどのような権利が守られているのか考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に参加している。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○		○	1

高等学校 令和5年度（12学年用） 教科 公民 科目 社会科教養

教科：公民 科目：社会科教養 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 組～ 組

教科担当者：（ 必修選択 ）

使用教科書：（ なし ）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 社会科教養	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	就職試験で活かせる、社会科に関する一般教養を理解する。	社会が抱える課題について、問題点や解決策について考察し、自分の言葉で表現できる。	積極的に授業に参加する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 地理分野の一般教養を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会で起きている社会課題について地理的な観点から考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加している。	一般教養（地理編）	【知識・技能】 ・地理の一般教養を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・現代社会で起きている社会課題について地理的な観点から考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に参加している。	○	○	○	10
	【知識及び技能】 個人端末の使い方の確認、パワーポイントの使い方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 パワーポイントを用いて効果的に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加している。	ICTの使い方 パワーポイントの使い方	【知識・技能】 ・歴史の一般教養を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・現代社会で起きている社会課題について歴史的な観点から考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に参加している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	【知識及び技能】 情報を取捨選択する力を身に付ける。情報をまとめる力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 探求した事柄について、適切に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加している。	課題探究活動	【知識・技能】 ・情報を取捨選択できる。 ・情報をまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ・まとめた内容を適切に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に参加している。	○	○	○	7
2 学 期	【知識及び技能】 歴史分野の一般教養を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会で起きている社会課題について歴史的な観点を踏まえて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加している。	一般教養（歴史編）	【知識・技能】 ・歴史の一般教養を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・現代社会で起きている社会課題について歴史的な観点から考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に参加している。	○	○	○	10
	【知識及び技能】 公民分野の一般教養を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会で起きている社会課題について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加している。	一般教養（公民編）	【知識・技能】 ・公民の一般教養を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・現代社会で起きている社会課題について歴史的な観点から考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に参加している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	【知識及び技能】 情報を取捨選択する力を身に付ける。情報をまとめる力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 探求した事柄について、適切に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加している。	課題探究活動	【知識・技能】 ・自分の興味関心に基づいて課題を設定できる。 ・情報を取捨選択できる。 ・情報をまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ・まとめた内容を適切に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に参加している。	○	○	○	11

	積極的に授業に参加している。		・積極的に授業に参加している。				
3 学 期	<p>【知識及び技能】 時事問題の一般教養を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会で起きている社会課題について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加している。</p>	一般教養（時事問題編）	<p>【知識・技能】 ・時事問題の一般教養を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・現代社会で起きている社会課題について歴史的な観点から考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に参加している。</p>	○	○	○	12
	<p>【知識及び技能】 情報を取捨選択する力を身に付ける。情報をまとめる力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 探求した事柄について、適切に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加している。</p>	課題探究活動	<p>【知識・技能】 ・自分の興味関心に基づいて課題を設定できる。 ・情報を取捨選択できる。 ・情報をまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ・まとめた内容を適切に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に授業に参加している。</p>	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1

高等学校 令和5年度（12学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科：地理歴史 科目：日本史探究

単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1組：石原） （2組：石原） （3組：石原） （4組：石原） （5組：石原）

使用教科書：（精選日本史探究（実教出版））

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想し想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 統一政権の成立 幕藩体制の展開 【知識及び技能】 中世から近世への時代の転換を理解させる。幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現させる。近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら問いを設定し、教科書や図表などの資料を活用して、背景と影響、意義、類似性、見通し、自己との関わりなどを調べ、解決させる。 定期考査	・指導項目 南蛮との出逢い 織豊政権の全国統一 東アジアの変動と豊臣政権 江戸幕府の支配のしくみ 江戸時代の対外関係 身分制と村・町の生活 幕府政治の転換 産業の発展 交通網の発達と都市に繁栄 徳川吉宗・田沼意次と財政問題 商品経済の発達と民衆運動 寛政の改革と欧米諸国の日本接近 江戸時代後期の学問・文化 天保の改革 ・教材 教科書 図表 ワークシート その他 ・ICT機器やタブレット端末の活用	【知識・技能】 中世から近世への時代の転換を理解している。幕藩体制の確立、産業の発達、近世の社会と文化の特色を理解している。 【思考・判断・表現】 中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近世の特色についての考察などを踏まえ、生徒がこれまでの学習を通じて生じた様々な疑問を相互に表現し、それらの疑問を基に、教師が問いかけを行うなどして、近世の特色について課題意識をもてる。それらを踏まえて、生徒が、近世の特色を探究するための筋道や学習の方向性を導く問いを表現できるよう学習を深めている。	○	○	○	22
	B 単元 大日本帝国の展開 大日本帝国とデモクラシー 【知識及び技能】 近世から近代への時代の転換を理解させる。日清・日露戦争、第一次世界大戦の影響、その後の国際秩序について確認させる。 【思考力、判断力、表現力等】 近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現させる。時代の転換に着目して、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現させる。近代から現代に至る国家や社会の展開について、主題を設定し、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現させる。近現代がどのような時代であったかを構造的にとらさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら問いを設定し、教科書や図表などの資料を活用して、背景と影響、意義、類似性、見通し、自己との関わりなどを調べ、解決させる。 定期考査	・指導項目 開国 倒幕とええじゃないか 明治維新 文明開化 富国強兵 国境の画定 自由民権運動 大日本帝国憲法 日清戦争 1900年前後の世界と東アジア 日露戦争 社会問題と地域社会 対象デモクラシー 第一次世界大戦と日本 資本主義の成長 改造の時代 植民地 ・教材 教科書 図表 ワークシート その他 ・ICT機器やタブレット端末の活用	【知識・技能】 立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。 【思考・判断・表現】 近代の政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代の特色についての考察などを踏まえ、生徒がこれまでの学習を通じて生じた様々な疑問を相互に表現し、それらの疑問を基に、教師が問いかけを行うなどして、近代の特色について課題意識をもてる。それらを踏まえて、生徒が、近代の特色を探究するための筋道や学習の方向性を導く問いを表現できるよう学習を深めている。	○	○	○	23
	C 単元 アジアの戦争と第二次世界大戦 現代日本社会形成と展開 【知識及び技能】 近代から現代に至る国家や社会の展開について、とくにアジア太平洋戦争に至る過程と大戦中の政治、社会、国民生活の変容を理解させる。占領から国際社会への復帰、日本国憲法の成立、高度経済成長について、世界の中の日本の視点から理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 近現代がどのような時代であったか、また、現代日本の課題はどのようなものか、時代の転換に着目して、多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現させる。	・指導項目 普通選挙と治安維持法 大日本帝国の選択 満洲事変とモダニズム 日中戦争と総力戦 アジア太平洋戦争 敗戦 世界の中の日本 占領 占領改革と日本国憲法の成立 朝鮮戦争 日米安保体制と55年体制 高度経済成長 ベトナム戦争とアジア 経済大国 世界の転換と日本社会 グローバル化する世界と日本 「わたしたち」の社会と世界 ・教材 教科書 図表 ワークシート その他 ・ICT機器やタブレット端末の活用	【知識・技能】 軍部の台頭や対外政策、第二次世界大戦の展開と敗戦、占領政策と日本国憲法の成立、国際社会への復帰、高度経済成長などをもとに、大戦中の政治、社会、国民生活の変容や我が国の再出発と現代の政治の枠組み、国民生活の変容を理解している。 【思考・判断・表現】 第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	23

2 学 期	<p>【学びに向かう力、人間性等】 自ら問いを設定し、教科書や図表などの資料を活用して、背景と影響、意義、類似性、見通し、自己との関わりなどを調べて、解決させる。</p>		<p>【学びに向かう力、人間性等】 アジア太平洋戦争から現代の特色についての考察などを踏まえ、生徒がこれまでの学習を通じて生じた様々な疑問を相互に表現し、それらの疑問を基に、教師が問いかけを行うなどして、アジア太平洋戦争から現代の特色について課題意識をもてる。それらを踏まえて、生徒が、アジア太平洋戦争から現代の特色を探究するための筋道や学習の方向性を導く問いを表現できるよう学習を深めている。</p>				
	定期考査						1
	<p>D 単元 国家と文化の形成 古代国家の確立</p> <p>【知識及び技能】 旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立に至る時期の日本列島の歴史的環境と文化の形成とを関連付けて時代の転換を理解させる。また、古代の国家や社会の展開について、理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 原始社会の特色や古代の国家や社会との関わりについて多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。古代の国家や社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自ら問いを設定し、教科書や図表などの資料を活用して、背景と影響、意義、類似性、見通し、自己との関わりなどを調べて、解決させる。</p>	<p>・指導項目 列島に暮らしはじめた人々 農耕がうまれる クニがうまれる ヤマト政権の形成 倭の五王と氏姓制度 飛鳥の朝廷 大化改新から壬申の乱へ 律令国家の形成 東アジアのなかの天平文化 奈良時代の政治と社会 平安時代初期の政治と文化 摂関政治と国風文化 摂関期の社会と経済</p> <p>・教材 教科書 図表 ワークシート その他 ・ICT機器やタブレット端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解している。貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 原始社会の特色や古代国家や社会との関わりについての理解や考察などを踏まえ、資料を扱う技能を活用し、生徒がこれまでの学習を通じて生じた様々な疑問を交えて、相互に表現する。</p>				22
定期考査						1	
3 学 期	<p>E 単元 中世社会の成立 中世社会の展開</p> <p>【知識及び技能】 中世がどのような時代であったかを東アジアやユーラシアの動向と関連付けて考察し、痔会させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・古代から中世への歴史の転換と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、前の時代との比較などを通して時代の転換について多面的・多角的に考察し、探究に向けた時代を通観する問いを表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自ら問いを設定し、教科書や図表などの資料を活用して、背景と影響、意義、類似性、見通し、自己との関わりなどを調べて、解決させる。</p>	<p>・指導項目 院政と中世荘園 奥州藤原氏と平氏 治承・寿永の乱と鎌倉幕府 承久の乱と公武関係 地頭・御家人と荘園制の変質 鎌倉時代の経済・産業と自然環境 モンゴル襲来と日宋・日元交流 社会の変動と鎌倉幕府の滅亡 南北朝の内乱 足利義満と室町幕府 東アジアの海をゆきかう人々 惣村と一揆 室町・戦国時代の流通経済 戦国時代の政治と社会</p> <p>・教材 教科書 図表 ワークシート その他 ・ICT機器やタブレット端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 ・貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解している。・武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・中世の特色についての考察などを踏まえ、武士の政治への関与が社会にもたらした変化や南北朝の争乱が室町幕府にもたらした変容など、生徒がこれまでの学習を通じて生じた様々な疑問を相互に表現する。</p>				22
	定期考査						合計
							117

年間授業計画表（令和5年度）

担当教員

石川 幸佑

教科・科目	地理歴史科 世界史 A	単位数	2	学年・学級	3 学年 1～5 組
教科書	明解 世界史 A（帝国書院）				
補助教材	明解 世界史図説 エスカリエ（帝国書院）				
学習目標	近現代史を中心とする世界の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、その歴史的意義や現代の諸課題に着目させながら考察させることによって歴史的思考力を培い、国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				

学習期間	学習内容	学習のねらい【到達度目標】	時数 (目安)
1 学期 中間考査	【各地域の文化・歴史】 ・中国 ・インド	・各地域の文化・歴史を概観する。 地域の特徴、現代への接点について考える。	12
1 学期 期末考査	【各地域の文化・歴史】 ・イスラーム ・ヨーロッパ	・各地域の文化・歴史を概観する。 地域の特徴、現代への接点について考える。	14
2 学期 中間考査	【近代ヨーロッパ】 ・大航海時代 ・ルネサンスと宗教改革 ・主権国家の誕生	・大航海時代から始まる『世界の拡大』について考える。近代国家の誕生について学ぶ。	14
2 学期 期末考査	【近代から現代へ】 ・革命の時代 アメリカ独立とフランス革命 ・産業革命 ・国民国家の誕生 ・帝国主義と大戦	・革命の時代を通じて、国民国家の生み出した諸問題や現代社会について考える。人種差別問題など現代的な問題についてもアプローチする。	16
3 学期 期末考査	【現代の諸問題】	・グローバルイシューを取りあげ学習し自分事としてとらえる態度を身に着ける。	22

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
	<ul style="list-style-type: none"> 基礎、基本の知識習得 資料等の読解力 文献、教科書等の読解 人生プランの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 資料等の考察能力 課題発見力 文章構成力 課題解決力 	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶ姿勢 授業の取り組み状況 課題の取り組み状況
評価方法	概ね、平常点 3 割（出席状況・課題提出状況・授業への主体的参加など） 定期考査（5 回）7 割 として総合的に評価する。 基本的には、考査を重視する。積極的評価としてレポートの提出などを提案する。		

学習のポイント	【補習・補講計画、参考図書など】 ＊「想像すること」「話を聞くこと」「民衆の視点」「つながり・流れ」を意識してください。 ＊1、2 学期で評定 1 の生徒については、課題の提出を求めます。 ＊動画などを紹介
---------	--

年間授業計画表（令和5年度）		担当教員		石川 幸佑	
教科・科目	地理歴史科 世界史Bα	単位数	2	学年・ 学級	3年1, 2, 3, 4, 5組
教科書	世界史B (東京書籍)				
補助教材	明解世界史図説エスカリエ (帝国書院)				
学習目標	1. これからの時代を生きる知識・教養を身に着ける。 2. グローバルイシューに興味を持つ。 3. 知識・教養を生かし、市民社会の一員として活動する態度を身に着ける。				

学習期間	学習内容	学習のねらい【到達度目標】	時数 (目安)
	○人類のはじまり	・人類とは何か、基本的な問いかけをスタートに歴史学習をスタートさせる。	12
1学期 期末考査	○オリエント、古代ギリシアの歴史	・エジプト、メソポタミアを中心に古代オリエントの歴史について学ぶ。ギリシアについては、市民社会の意義について考える。	14
	○ローマ、インドの歴史	・ヨーロッパの起源となるギリシア・ローマ史の歴史的な意義について考える。	14
2学期 期末考査	○中国史の歴史 殷～隋・唐時代	・政治・経済のシステムや中国思想・宗教について基礎的な理解を深める。	16
3学期 期末考査	○中国史の歴史 宋・元・明時代	・中国を作り上げたシステムと東アジアを中心とした中華冊封体制について理解を深める。	22

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
	<ul style="list-style-type: none"> 基礎、基本の知識習得 資料等の読解力 文献、教科書等の読解 人生プランの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 資料等の考察能力 課題発見力 文章構成力 課題解決力 	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶ姿勢 授業の取り組み状況 課題の取り組み状況
評価方法	平常点（出席状況・課題提出状況・授業中での取り組み・授業参加 等） 定期考査（1学期中間・期末、2学期中間・期末） 基本的には、考査を重視する。積極的評価としてレポートの提出などを提案する。		

学習の ポイント	【補習・補講計画、参考図書など】 因果関係や流れを意識すること。
-------------	-------------------------------------

年間授業計画表（令和5年度）		担当教員		石川 幸佑	
教科・科目	地理歴史科 世界史Bβ	単位数	2	学年・ 学級	3年1, 2, 3, 4, 5組
教科書	世界史B (東京書籍)				
補助教材	明解世界史図説エスカリエ (帝国書院)				
学習目標	1. これからの時代を生きる知識・教養を身に着ける。 2. グローバルイシューに興味を持つ。 3. 知識・教養を生かし、市民社会の一員として活動する態度を身に着ける。				

学習期間	学習内容	学習のねらい【到達度目標】	時数 (目安)
1学期 中間考査	○大航海時代・ルネサンス	・近代社会誕生の基礎となる大航海・ルネサンスの時代について学習する。	12
1学期 期末考査	○主権国家の誕生	・スペイン、イングランド、フランスなどの絶対主義時代を通じて、近代国家の誕生について学ぶ。	14
2学期 中間考査	○帝国主義時代の中国・日本	・世界史Aの授業でフォローできなかった部分を中心に帝国主義時代の中国・朝鮮・日本について学ぶ。	14
2学期 期末考査	○大戦と現代社会	・革命の時代を通じて、国民国家の生み出した諸問題や現代社会について考える。人種差別問題など現代的な問題についてもアプローチする。	16
3学期 期末考査	○現代の諸問題	・グローバルイシューを取りあげ学習し自分事としてとらえる態度を身に着ける。	22

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
	<ul style="list-style-type: none"> 基礎、基本の知識習得 資料等の読解力 文献、教科書等の読解 人生プランの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 資料等の考察能力 課題発見力 文章構成力 課題解決力 	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶ姿勢 授業の取り組み状況 課題の取り組み状況
評価方法	平常点（出席状況・課題提出状況・授業中での取り組み・授業参加 等） 定期考査（1学期中間・期末、2学期中間・期末、学年末） 基本的には、考査を重視する。積極的評価としてレポートの提出などを提案する。		

学習の ポイント	【補習・補講計画、参考図書など】 動画などを活用して生徒の興味・関心をたかめ、理解を深められるようにする。
-------------	--

年間授業計画表（令和5年度）

担当教員

大原 康裕

教科・科目	地理歴史 地理 A	単位数	2	学年・ 学級	3年 1～5組
教科書	二宮書店 基本地理 A				
補助教材	最新地理図表 GEO 二宮書店 基本地図帳改訂版				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的事象に関する基礎的・基本的な知識・技能を身につける ・身につけた知識・技能を活用して思考・判断・表現する力を身につける ・多様な価値観に触れ、様々な観点から物事を捉えようとする姿勢を身につける 				

学習期間	学習内容	学習のねらい【到達度目標】	時数 (目安)
1 学期 中間考査	気候と私たちの暮らし 地形と私たちの暮らし	緯度、経度、赤道。回帰線、日付変更線、標準時、時差、国家とは何か、国家の領域など世界地理の基本となる事柄について理解する。	10
1 学期 期末考査	経済・文化と私たちの暮らし 中国、朝鮮半島 東南アジア、南アジア	地形の成り立ちや気候の変化の仕組みを理解し、世界各地の産業や生活の特徴を理解する。 対象とする国・地域の自然環境や民族、産業の面からその特色を知り、地域の人々の生活や日本との関係について理解する。	14
2 学期 中間考査	中央アジア・西アジア・北アフリカ、サハラ以南アフリカ、ヨーロッパ	対象とする国・地域の自然環境や民族、産業の面からその特色を知り、地域の人々の生活や日本との関係について理解する。	18
2 学期 期末考査	アングロアメリカ、ラテンアメリカ、オセアニア 食料問題、居住・都市問題、人口問題、資源・エネルギー問題	対象とする国・地域の自然環境や民族、産業の面からその特色を知り、地域の人々の生活や日本との関係について理解する。 現代社会の諸問題について地球的視野から捉え、問題意識を持つ。	12
3 学期 期末考査	環境問題 地図と GIS の利用 日本の自然環境と防災	現代社会の諸問題について地球的視野から捉え、問題意識を持つ。 日本の自然環境と災害の特徴について理解し、災害に備える心構えを持つ。	16

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
	・地理的事象に関する基礎的・基本的な知識・技能を身につける	・身につけた知識・技能を活用して地理的事象の影響や原因などを説明する。	・多様な価値観に触れ、様々な立場から物事を考察しようとしている。
評価方法	定期考査に加えて、平常点として Classi を活用した振り返りテストやアンケート、授業プリント確認を行う。		

学習のポイント	<p>【補習・補講計画、参考図書など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で示した「ポイント」は重要な点なので、よく話を聴き理解する。 ・「やってみる」は授業を理解するために大切な活動なので積極的に取り組む。
---------	---

年間授業計画表（令和5年度）

担当教員

道祖土 優太

教科・科目	公民科 政治・経済	単位数	2	学年・ 学級	3年 1～5組
教科書	最新 政治・経済 新訂版 (実教出版)				
補助教材	最新図説 政経 (浜島書店)				
学習目標	1. 人生 100 年時代を生きるために必要となる知識を獲得する 2. 獲得した知識を活用し、自らの人生設計を設計する。 3. 良識を持った公民として、必要なスキルを身につける。				

学習期間	学習内容	学習のねらい【到達度目標】	時数 (目安)
1 学期 中間考査	○政治分野 ・ 基本的人権 ・ 基本的人権と政治について	・ 日本国憲法の意義や権利を理解し、憲法の重要性を理解する。	12
1 学期 期末考査	○政治分野 ・ 新しい人権 ・ 国会・内閣・裁判所について ・ 選挙の状況と政治参加の意義	・ 日本の政治について、知識を得て、考察して、これからの日本について考えることができる。 ・ 選挙の重要性を理解し、良識のある公民として必要な知識・技能を身につける	14
2 学期 中間考査	○経済分野 ・ 市場メカニズム ・ お金のしくみと役割 ・ 経済主体と私たち ・ 働くということ	・ お金を中心として世界を俯瞰し、自らの人生を設計する。 ・ 働くということを通じて、自らの人生プランを考え、表現できる。	14
2 学期 期末考査	○経済分野 ・ 日本財政と今後の生活 ・ 私たちの未来 ・ 年金制度と人生プラン ・ グローバル経済と投資・貯蓄	・ 日本の財政の状況を理解すると同時にこれからの日本財政について意見をもる。 ・ 現代社会の諸課題について考察し、自分の人生を設計する。	16
3 学期 期末考査	○政治・経済のまとめ ・ 人生 100 年時代と自分 ・ ビジネススキルと現代社会	・ 人生 100 年時代に対応できるように、自らの人生プランを表現できる。 ・ ビジネス社会に通用するスキルを身につける。	22

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
	<ul style="list-style-type: none"> 基礎、基本の知識習得 資料等の読解力 文献、教科書等の読解 	<ul style="list-style-type: none"> 資料等の考察能力 課題発見力 文章構成力 課題解決力 	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶ姿勢 授業の取り組み状況 課題の取り組み状況
評価方法	平常点（出席状況・課題提出状況・授業中での取り組み・授業参加 等） ＝ 全体得点の40％程度 定期考査（1 学期中間・期末、2 学期中間・期末） ＝ 全体得点の60％程度		

学習の ポイント	【補習・補講計画、参考図書など】 総合点不足の生徒に対しては、別途課題および再試等を実施する。
-------------	--

年間授業計画表（令和5年度）

担当教員 石原 剛

教科・科目	選択 日本史 B	単位数	2	学年・学級	3 学年 選択
教科書	新選 日本史 B（東京書籍）				
補助教材	図説 日本史通覧（帝国書院） 自作プリント				
学習目標	1 日本史を通じて、思考力・判断力・表現力・想像力を身につける。 2 獲得した知識を活用し、表現すること文章力を身につける。 3 過去より学ぶことで、未来を生きる姿勢を身につける				

学習期間	学習内容	学習のねらい【到達度目標】	時数 (目安)
1 学期 中間考査	【中世社会の成立】【武家社会の形成と東アジア】 鎌倉幕府の成立 執権による政治 元寇と社会の変貌 鎌倉の仏教と文化 室町幕府の創設	源頼朝が日本をどう変えたか考察する。執権政治、元寇などから武家政権の展開やその特質を考察する。鎌倉新仏教の展開について考察する。鎌倉幕府の滅亡から南北朝の動乱、室町幕府の確立から外交・守護大名の成長にいたる武家社会の変質を考察する。	13
1 学期 期末考査	【武家社会の形成と東アジア】倭寇と東アジアの交易 下剋上の社会と戦国大名 室町文化 【ヨーロッパ文化との接触と国内統一】 ヨーロッパ文化との接触 織豊政権による全国統一 桃山文化 江戸幕府と大名・朝廷 身分制度の確立	応仁の乱の意義、惣村の発展と一揆の展開を理解する。南北朝の内乱や戦国の動乱がどのような文化を生み出したのか考察する。戦国時代から近世社会へいたる過程を、海外情勢をふまえて理解する。幕藩体制の成立と展開を考察する。	18
2 学期 中間考査	【近世社会の発達と町人文化】 キリスト教禁止と鎖国 幕府政治の進展 経済と産業の発達 学問の新傾向と元禄文化 調査研究・発表・相互評価	江戸時代初期の外交からキリスト教禁止、鎖国体制の完成までを海外との関係をふまえて考察する。幕藩体制の転換と元禄文化について貨幣経済の発達をふまえて考察する。テーマを設定し、調査発表を行う。	18
2 学期 期末考査	【幕藩体制の動揺と庶民文化の発達】 幕藩体制の動揺と政治改革 幕藩体制の危機 新しい学問の形成と化政文化 調査研究・発表・相互評価	米経済のゆきづまりによる幕藩体制の動揺と幕政改革・藩政改革、ヨーロッパ列強の接近と海防について理解する。化政文化の特質を理解する。	20
3 学期 期末考査	【開国から明治維新へ】 開国 幕府の滅亡 統一国家の成立	開国から幕末の動乱をへて幕藩体制の崩壊・明治維新までを欧米列強の東アジア進出をふまえて理解する	9

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
	＊我が国の歴史の展開を地理的条件や世界の歴史と関連付けて理解しているか。 ＊基本的な歴史事象に関する知識を、さらには相互の因果関係を読み取り各時代の特色を大きく捉えることのできる能力を身につけているか。	＊我が国の歴史の展開から課題を見出し、世界の歴史や国際環境等と関連付けて、実証的、多角的、多面的に考察しているか。＊歴史的に形成された諸課題について、さまざまな理解・立場があることをふまえて、公正に判断しているか。＊課題についての考察や判断の過程や結果を、適切な方法（レポート、話し合い、発表など）を選んで効果的に表現しているか。	＊歴史的事象と現在との結び付きを意欲的に考え、歴史を学ぶ意味に気づき、関心をもって主体的に学習活動をしているか。 ＊プリントへの記述や発言、行動観察や自己評価相互評価などを参考とする。
評価方法	概ね、考査（4回）：7割、提出物（課題、授業プリントなど）：2割、出席状況及び授業態度：1割として、総合的に評価する。また、考査素点については、各考査で概ね30点前後（平均点の6割）となる赤点ラインの4回合計点（120点前後）に到達していることが評価の1つの基準となる。また、2学期は調査研究・発表を加味して評価する。		

学習のポイント	【補習・補講計画、参考図書など】 ＊「想像すること」「話を聞くこと」「民衆の視点」「つながり・流れ」を意識してください。
---------	---

年間授業計画表（令和5年度）

担当教員		俵木			
教科・科目	公民科 現代社会	単位数	2	学年・学級	3 学年（選択）
教科書	最新 現代社会（実教出版）				
補助 教材	ダイアログ世界史図表（第一学習社）、最新 政治・経済 新訂版（実教出版）最新図説 政経（浜島書店）				
学習目標	1、今日、社会で起きている事象について理解する。 2、新聞記事やニュースの内容を読み解くことができる。 3、世界の諸課題について主体的に考え、適切に表現できる。				

学習期間	学習内容	学習のねらい【到達度目標】	時数 (目安)
1 学期 中間考査	国際政治（欧米）	東西冷戦から現在に至る、欧米や世界のできごとについて、基礎知識を身に付ける。新聞記事や各種資料を読み解き、考えたり意見を持ったりする力を身に着ける。授業のテーマについて、自分の関心のある事柄を調べる力を身に着けさせる。	12
1 学期 期末考査	国際政治（欧米）	東西冷戦から現在に至る、欧米や世界のできごとについて、基礎知識を身に付ける。新聞記事や各種資料を読み解き、考えたり意見を持ったりする力を身に着ける。授業のテーマについて、自分の関心のある事柄を調べる力を身に着けさせる。	14
2 学期 中間考査	国際政治（アジア）	日本を含めたアジアに関する時事的な事柄について、基礎知識を身に付ける。新聞記事や各種資料を読み解き、考えたり意見を持ったりする力を身に着ける。授業のテーマについて、自分の関心のある事柄を調べる力を身に着けさせる。	14
2 学期 期末考査	国際政治（アジア）	日本を含めたアジアに関する時事的な事柄について、基礎知識を身に付ける。新聞記事や各種資料を読み解き、考えたり意見を持ったりする力を身に着ける。授業のテーマについて、自分の関心のある事柄を調べる力を身に着けさせる。	16
3 学期 期末考査	課題調べ学習、個別指導	時事的な事柄について、自分の関心のある課題を設定し、資料を集め、他者に伝える技術を身に付ける。	22

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
	<ul style="list-style-type: none"> 基礎、基本の知識習得 資料等の読解力 教科書、新聞記事の読解 	<ul style="list-style-type: none"> 資料等の考察能力 文章構成力 課題発表 	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶ姿勢 授業の取り組み状況 課題の取り組み状況
評価方法	平常点（提出物、授業態度）、発表、考査で総合的に判断する。		

学習の ポイント	【補習・補講計画、参考図書など】 教科書、資料集、新聞、必要に応じてインターネットを活用し、自分の分からないところを調べる。
-------------	---

